

# 2022年度事業計画

公益財団法人竹中育英会

## 【公1】教育・研究への助成事業

### 1. 国内奨学生に対する助成

#### (1) 奨学生数と給付金額

- ・2022年1月～2022年3月

2021年より継続の大学生121名、大学院生45名（修士42名 博士3名）、計166名

- ・2022年4月～2022年12月

大学生119名（継続79名 新規40名）、大学院生51名（継続24名 新規27名）、計170名

- ・給付月額

大学生、大学院生ともに80,000円

#### (2) 新奨学生の選考

- ・大学新規奨学生40名、大学院生（大学奨学生より進学した学生）27名を採用予定。
- ・指定20大学より推薦を受けた新2年生各2名、及び当会大学奨学生から大学院に進学した学生を対象に、5～6月、選考委員会による書類選考及び面接選考を行い、採用者を決定する。

#### (3) 大学院博士課程進学者に対する奨学生選考の開始

- ・60周年記念事業の一環として、指定大学より推薦を受けた修士課程2年次生を対象に、選考委員会による書類選考及び面接選考を行い、採用者6名を決定する。なお、奨学金の支給は2023年4月より行う。

### 2. 海外留学奨学生に対する助成

#### (1) 奨学生数と給付金額

- ・2018～2020年選考の継続奨学生14名、2021年選考の新規奨学生4名、計18名

- ・給付年額

4,500,000円を上限とする。

#### (2) 海外留学新奨学生の選考

- ・指定6大学および当会国内奨学生より応募者を募り、選考委員会による書類選考及び面接選考を行い、3～5名で内定者を決定する。
- ・留学先大学決定後、本決定とする。

### 3. 奨学金総額

229,940,000円

#### 4. 奨学生に対する支援

##### (1) 行事の開催

奨学生相互の親睦を促進するとともに財団関係者・大学関係者・奨学生OBとの交流を目的に、以下の行事を開催する。

- ・卒業奨学生歓送会（60周年記念の会と併せて大阪・東京にて開催、3月）
- ・新奨学生歓迎会（大阪・東京にて開催、10月）
- ・各大学の集い（大学毎に年2回開催）
- ・大学間の集い（適宜）

##### (2) 学生寮の設置・運営

既存学生寮（～2022年10月）

- ・所在地 東京都練馬区中村北2丁目9番4号
- ・施設 鉄筋コンクリート造4階建、延1,208.91㎡
- ・収容可能数 28名（男性23名、女性5名）
- ・寮費 食費のみ

新学生寮（2022年11月～）

\*2022年11月に、既存学生寮入寮者の引越しを行う

- ・所在地 東京都練馬区中村北2丁目9番4号
- ・施設 鉄筋コンクリート+木造2階建、延711.61㎡
- ・収容可能数 20名（男性13～14名、女性7～6名）
- ・寮費 食費のみ

##### (3) 奨学生OB組織（竹門会）に対する支援

- ・活動の機会と場を提供する。
- ・奨学生の集いへの参加を要請し、現役奨学生との交流を促進する。

#### 5. 研究者に対する助成

##### (1) 建築研究助成金の交付

- ①対象者 大学院生で無所得の研究者
- ②募集方法 研究課題の募集を日本建築学会に依頼し、同学会の機関紙「建築雑誌」及びHPを通じて募集する。
- ③選考方法 応募課題を研究助成選定委員会にて審査し決定の上、その結果を日本建築学会の学術推進委員会に報告する。
- ④助成件数 10件
- ⑤助成金額 1件500,000円 総額5,000,000円
- ⑥成果報告 応募1年後に、研究論文等の提出を求め、研究成果を確認する。

## 6. ハンディキャップフィールドに対する助成

### (1) 学校法人日本聾話学校

- ・助成対象 聴力・言語教育方法・施設・設備・器具の研究
- ・助成金 年額 350,000 円

### (2) 社会福祉法人無愛園

- ・助成対象 教育設備等への支援
- ・助成金 年額 300,000 円

## 7. 60周年記念の会

新型コロナウイルス感染拡大により延期した 60 周年記念の会の開催  
(大阪 3 月 4 日、東京 3 月 9 日)

## 【公 2】文化及び芸術の振興を目的とする事業の実施及び支援

### 1. 展示事業の実施

文化・芸術事業選定委員会により審査・選定された展示会(1)(2)を主催する。

#### (1) 日本は発酵の楽園 一雨も土も風も…食べたものは心になる身体になる一

##### ① 内 容

コロナ禍の巣ごもり生活は足元の暮らしを見つめる機会となり、食への関心を高め、家庭でも手軽に作られる味噌、醤油、米麴、酒麴などの発酵食品は長期間保存可能で、味も良く静かなブームとなっている。発酵文化は日本が世界に誇る食文化でもあり、人々の営みや蔵や工場などの建築にも連綿と伝統が受け継がれている。

本企画は、日本の発酵文化に焦点を当て、有機農業を実践する生産者の土づくりから、生産の現場である蔵や工場の自然環境を生かした造りや道具まで、そのサイクルを追い、目に見えない微生物の世界に耳を澄ました、食と暮らしを考える展示会とする。

##### ② 展示日程(予定)

2022 年 8 月 ~ 2022 年 11 月 於：ギャラリーエークウッド

##### ③ 予算 8,000,000 円

#### (2) α 世代が考える宇宙の暮らし

##### ① 内 容

JAXA では 2021 年秋、13 年ぶりの日本人宇宙飛行士の募集があり、NASA アルテミス計画では 2024 年に有人月面着陸を目指し、2028 年までに月面基地の建設を開始することになっている。この計画には日本も参画することから、新たに選ばれる日本人飛行士は月面で活躍する

ことになるかもしれない。人類が月面に降り立って約 50 年、月探査の新しい時代はもう幕が開けている。

本展は、未来を担う  $\alpha$  世代（2010 年以降に生まれた子供達のグループ）の宇宙への好奇心に寄り添い、月居住の未来を専門家がサポートするワークショップを開催して一緒に考える。それらの成果を展示し、地球にあって宇宙にないもの、宇宙にあって地球にないもの、宇宙居住の衣・食・住と身体鍛錬などを考えることで、未来における宇宙での暮らし、その中で人類に本当に必要なものは何かを考える展示会とする。

② 展示日程（予定）

2022 年 12 月 ～ 2023 年 2 月 於：ギャラリーエークウッド

③ 予算 12,000,000 円